

NO. 45

H3.2.28

—発行—

〒869-12

熊本県菊池郡

大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

TEL096

293-8100

お父さんの涙

理事長 田中 稔

『三気の里』では毎月一度、帰宅訓練も兼ねて保護者会の日があります。その時に新しく入所した子供の保護者の紹介をします。先月23才のU子さんが入所されました。今まで自宅で共に生活されていたお父さんが自己紹介で、「将来の事も考え、入所させました。今まで手元にいた娘と別れて初めて園から帰る道々、万感の想いがこみあげて来て、自分にもこんな純真な心がまだ残っていたのかと驚きました。」と涙声で話されました。

普通の親ならこの「子供への想い」を誰でも一度は経験しています。ところがどうでしょうか？施設が出来て4年になろうとし

ています。初めは毎週土、日に連れて帰られていた家庭が月に2度となり、1度になってきました。

(月に1度は特別な事情が無ければ全員帰宅します。)土曜日の迎えの際、早めに来ての手伝いも段々と少なくなりました。又、夏、冬の休みも2週間が10日から7日へとなくなってきました。

施設が出来る前は、他県の自閉症施設のように親が資金を出し合っても作らなければ行く所が無いと言っていた親が、一旦入所させてしまえば楽な道を選んでいる様に思えてなりません。

どうしてこんな事になってしまったのでしょうか。今まで子供がいたゆえに出来なかった自分自身の人生の楽しみ?を味わいたいという事ででしょうか。

一度、子供のいない家庭の状況が出来ると元に戻れないのでしょうか。

家庭での大変さは少しも変わっていない。帰って来ても楽しく無いという事ででしょうか。もともと人間なんて、親なんてそんなものなんでしょうか。

子供が大きくなるにつれ親は確実に老いていきます。いつまでも健康でいるわけではありません。元気なうちに子供達の為に何が出来たのか。いま一度、初心にかえって考えて頂きたいと思います。

施設はそれなりに存在し続けます。

私達は『お父さんの涙』から何かを育てて行きたいのです。



療育シリーズ

カズくんのだわり

園長 土井尚典

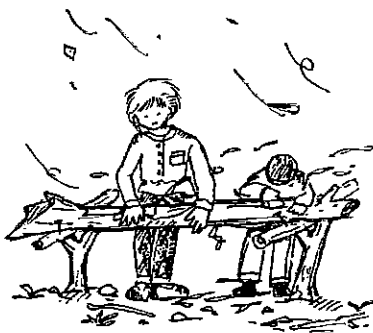
間伐材の皮剥き作業をしているとき、マークくんが大きな声を出していた。それが気にいらなかったのか、マークくんが自分の右手を噛みながら、マークくんに「静かにしてくれ」という感じで迫って行った。マークくんにとっては突然の出来事であったのだろう、びっくりして隣にいたケンちゃんにつきかみ掛かった。ケンちゃんもつとびっくりして、自分の頭をたたいてワーワーとパニックになってしまった。ここまでアツという間の出来事である。私は慌てて近付いたらケンちゃんにつきかみ掛かれて、気が付いたら左手の甲に爪痕があり皮が剥げて血が出ていた。3人共落ち着いて作業を始めたので、左手の甲の皮を元どりにくっつけてバンドエイドを貼った。ホツとして顔を上げるとカズくんがそばに

たっていた。その瞬間、今貼ったバンドエイドをバリツと剥がされてしまった。バンドエイドには皮がくっついていて、カズくんはそれをポイと捨ててしまった。カズくんはバンドエイド剥がしの天才であることを忘れていた。大失敗である。仕方がないのでそのまま乾かすことにした。作業がおわって挨拶をして解散した時に、またカズくんがそばに立っていた。何か用かなと思ったときに、左手の甲の乾いた血の塊をピツと剥がされてしまった。血がジワツと出て来て、ヒリヒリしだした。カズくんの手の甲をバシツとひっぱたいてこっぴどく叱ったが、本人はケロッとして「アーイ」を繰り返しながら謝っていた。職員にこの出来事を話すと「園長は甘いよ、カズくんに見られたのがおまちがいですよ！」と同情の余地なしであった。薄情な職員である。

それから一週間程して、自宅で女房が私の左手を握って、ニコニ

コして居る。「ウン、今日は何事かな」と思って居ると「お父さんむこう向いて」と言いながら、カサブタを取りはじめた。取り終わると「お父さん、今度はもう少し多きいを作って来て！」とニヤリと笑った。話を聞くと前から目を付けて居たとのことである。私が治りかけているカサブタを取られるのを厭がったら女房もカズくんみたいにスツと来てサツと取って行くかなと想像すると、油断大敵である。

カズくんの場合も取ることに生きがいがあるようである。手の甲にバンドエイドやカサブタという異物がついて居るのが気になって取るのではなく、バンドエイドを剥



がすことであり、カサブタを取る
ことであるようである。バンドエ
イドやカサブタでなくてはいけな
いようである。まあ言わば趣味の
領域であるが、相手に被害がある
ので、この趣味を他に変えないう
ちはこっぴどく叱られるのは仕方
がないと、カズくんに覚悟しても
らわなくてはならない。



魚谷郁子

新年会

二月十一日、遅めの新年会（懇
親会）を健軍町の王家亭で行いま
した。子供達の帰園日を利用して、
初めての昼間の集まりです。新し
く藤本さんご夫妻をお迎えし、保
護者、先生方総勢27名の参加でし
た。

まずはご結婚間近かのT先生と
S先生を一同で祝福しました。笑
顔、笑顔のT先生、一段と奇麗に
なられたS先生、お幸せに。幹事
役は事務長先生にお任せし、今や
中高年と化した昔の花嫁花婿達は、
もはや色気より食い気と料理を次
々にたいらげていきました。

一方、園長先生がご自身の体験
から「健康で頑張りましょう」と
ご挨拶されました。ひたすら子供
の成長を願ってきた私共も、この
ごろ自分の年令や体力を意識する
事が多くなってきました。家族や
友人の健康が気になっていた矢先
だけに先生のお話しがこの他胸
にひびきました。

療育相談、家庭の事、仕事の事、
あちこちではずむ話は、いつもな
がらの光景です。この和を大切に、
若いカップルに負けない幸せと健
康と、そして子供達の成長を祈り
つつ早春の一時は和やかに過ぎて
いきました。

節分

清田美加

2月3日、日曜日。今日は節分。
豆まきをすることになり、みんな
運動場へ集合！

さあ、豆まき開始。「鬼は外、
福は内。」鬼めがけてそれっ！
あれっ？自分の口の中へ放り投げ
ている人がいるぞっ。鬼退治、
鬼退治。鬼はイテテ、イテテと逃
げて行ってしまいました。逃げる
のも忘れ、一人もくもくと豆を食
べ続けている、くいしんぼう鬼も
いました。やはり、鬼は強かった。
ちよつとや、そつとじゃ退治でき
なかったようです。

福の神さん、早く、早くいらっ
しゃい。今年も三気の里にいいこ
とがありますように…。



むらけいまのり

3班 ある日 山男たちは…

肌寒い日が続く毎日、防寒服に身を包み、室内木工作业に取り組んでいるのですが、もう寒い寒い。春の陽気が待ちどおしい3班です。

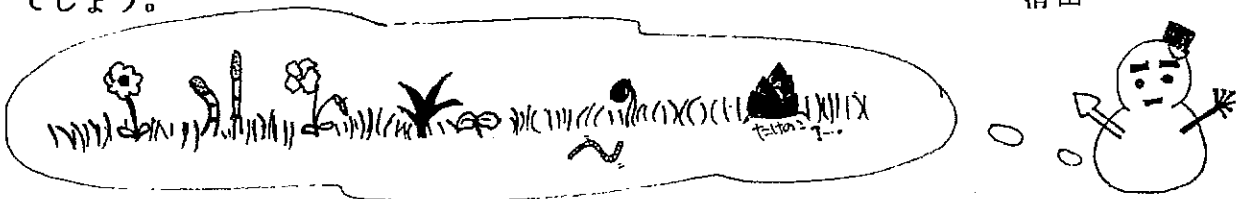
この間、2月のレクリエーションで天草の方までドライブを兼ね、水族館見学に行ったのです。まずは腹ごしらえでラーメンを食べ、暖まったところで水族館見学、色とりどりの海水魚を見ると心なしか暖かく感じる一時でした。海底水族館の館内を地下道の様に歩き去るみんなの後ろ姿を見ながら、もう少し止どまって欲しいと思ったのは私だけだったのでしょうか。さあ、今度はレクも終わった事だし、山作業に本格的に取り組む時が来ました。買ったばかりの作業服に身を包み、みんなで山男となり頑張ろう。 田之上

4班 「花芽」

北風に身をすぼめながらも外作業にできれば「ふきのとう」等、春をみつけられるようになって来た今日このごろ、4班にも少しずつ変化が見られるようになって来ました。「たんぼぼ市場」の開店、堆肥の袋詰め等の外作業、ビニールハウスの設置といった、これまでと違う作業も加わって来ましたが、何よりも4班のメンバーの中に、「今までとちょっと違うぞ」と思わせる「やる気」or「可能性」といったものが感じられるようになってきたのです。今のところ、まだまだふきのとうより小さくつぼみというよりも「花芽」くらいのものかも知れませんが花が咲く時、実が実る時を信じて楽しみに顔がほころんでいます。まだ寒いけどみんながんばろうね。 東

5班 は～るよこい

現在5班は、木の剪定や、運動場周辺の片付けにと大忙しの毎日です。春はもうそこまで、というのに冷え込みが一層厳しくなった今日このごろ。この寒さにも負けず、冬の後片付けを頑張ってくれています。おかげで、園内はすっきり。もう、いつ春がやってきても良いようです。草花たちが、いつでも顔がだせるようにしてあります。花が大好き幸男さん、辰治さん。きっと草花たちが顔をだすのを満面の笑みで迎えてくれることでしょう。みなさん、春になったら、三気の里へ遊びにきませんか？2人の咲かせた花たちが待っていることでしょう。 清田





1 班 花開け!草木染め

現在、1班の草木染めの作業では、やっと最近大作?に入ろうとしています。今までにコースターやランチョンマットの大きさの布は染めたのですが、今回テーブルセンター用の大きな布を染め始めました。1班のみんなの染める手つきも段々上手になってきています。作業の各々の様子では、ステッチをすすんでやる忠ちゃん、刺し子は任せてのみっちゃん、ステッチは職員よりもうまい泰ちゃん、染める時は一所懸命の潔君、りえちゃん、肇君、針の糸通しをマスターしたかつちゃん、染め物の材料を煮出す時、気になって鍋を覗くのりちゃん、(もちろん作業は頑張っています)。『やれやれ』とややしんどいのかな? 声を出すのぶはるさん、ジャブジャブと元気よく布を染める武ちゃん、染める時手首使いのうまいさとちゃん、作品作りはまだまだつぼみの段階だけど、きつといつかは花を咲かせて実になる様頑張ろう!!

武藤

2 班 つぼみ

暖かな日差しの中、作業をしていると、にわとり小屋近くの梅のつぼみが、日、一日と膨らんでいます。

2班のみんなも最近どんどん成長し、民さんとさゆりちゃんは、坂井さんの奥さんにパン作りを週1回教えてもらい、おいしいパンをごちそうしてくれます。光紀君と武彦君と浩ちゃんは、午後になると自分達で作業服に着替え、コンテナを持って草取りをしています。文ちゃんと俊ちゃんとあっこちゃんは、一輪車での運搬作業に大活躍しています。英君と真一郎君と久美ちゃんは、たんぼぼの部屋や階段、廊下やお風呂場の清掃、外のごみ拾いまで幅広い場所を綺麗にしています。

時々、みんなの成長に気付きうれし涙がでます。2班のつぼみたちよ大輪の花を咲かせようね。

高橋

我が家のお雛様

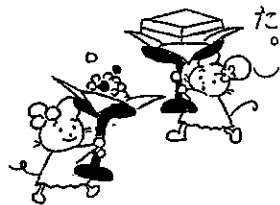
上野千恵子

思い出せば、あれは何年前のお雛様だったかな……。りえは今の様に言葉数が少なく、顔の表情も沈んでいた頃でした。何をしたら喜び、楽しむだろうかと色々考えたりもしてみました。そこで、ひとつの期待をかけて私の家でもお雛様を飾る事にしました。早速ひな壇を出して、準備に取り掛かりました。一番上の段には金の屏風、その手前におだいり様とお雛様を飾り一段一段と出来上がってきました。何度か『りえちゃん、お雛様飾ろう』と声をかけてみました。が、何の反応も有りません。子供としてみれば親が飾るのを楽しんで見ているのか、(何ぼしよらすとだろうか)と思っている様で私も飾りながらこんなことを考えながら、一人おかしくもなり淋しくもなってきました。やっと飾り付けが済んで、ももの花とお酒、ひし餅をそなえて出来上がり。飾る

前の期待、出来上がったその時の瞬間、何か一言でも『うれしい』とか『お雛様きれいかね』とか言葉を待っていました。その期待も無く、りえのその時の頭といえは傑作で、今もごらんを通り丸坊主でした。せっかくのお雛様もかわいそうに髪の毛が有りません。そこで、ばあちゃんのかつらがあつたのでかつらをかぶせて、はい出来上がり。お雛様の両脇にりえと

ばあちゃんを並べて記念撮影。本人は、おすまし顔のおだいり様って感じ。こちらは写真撮りながら思わず笑ってしまいました。

雛祭り親が楽しむ我が家かなこれが我が家のひな祭りでした。(この原稿は昨年戴いたものです。が、紙面の都合上遅れてしまい申し訳ありませんでした。)



気になる

栄養の証

「カルシウムを摂る工夫を」

火山国である日本の土壌は、もともとカルシウムの少ない酸性土。野菜や畜産物そして飲水もカルシウムが少なく、そのうえわたしたちの食生活は魚介類から肉類中心の食生活へと変化しています。カルシウムが最も家庭で手軽に摂れるのは乳製品です。牛乳200ccでカルシウム約200mgと覚えて、できれば1日2000〜4000ccは飲むようにしましょう。又、チーズやヨーグルトの他、小魚や魚、海藻は毎日一品どれか食べる工夫をしましょう。おひたしやゴマ和え、大豆製品もカルシウムが豊富です。

毎日の食生活に大切なカルシウムをメニューに入れてみてはいかがですか？



長友

ぼらんていあ通信

先日、以前ボランティアに来て下さった学生さんに偶然お会いしました。その方は大学4年生、3月で卒業し、4月からは北九州でお勤めされるという話を聞き、今年もまた卒業の季節がやって来たのを感じました。

学生時代、三気の里でボランティアを経験し、卒業されていかれた方がもう200名を越えたでしょう。そのうち数名の方は卒業してからボランティアを続けていらっしゃるようですが、大半は自分の仕事に専念されているようです。今年も54名の方が卒業していかれます。長いお付き合いをして下さった方、一度だけ遊びに来て下さった方、開園祭・運動会・夏祭り・バスハイク・山登り：楽しい思い出も一杯です。少し寂しい気もしますが、皆さんお元気で！

近くに来られたときには、お茶でも飲みよって下さい。みくんなで待っています。

平川



九州・山口地区自閉症研究協議会
研修報告

山中美津代

先日2月2日、3日と佐賀県で行われた『九州・山口地区自閉症研究協議会』に参加しました。学校病院・施設・親の側といった様々な立場からの意見が聞け興味深いものがありました。一番関心があったのが、「お手伝い学習」という発表で、お手伝いを単なる手伝いとして片付けてしまうのではなく、お手伝いを通して教科書では学ぶ事の出来ない様な事を学び、やり遂げられたという充実感、誉められる事による満足感を味わい色々な能力を延ばしていこうとする考え方でした。

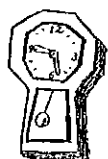
この他、同じ自閉症者を受け入れておられる背振学園も見学させて戴き有意義な二日間を過ごす事が出来ました。

食堂営業中

『厨房奮戦記』

12時15分前、6時15分前、厨房内では大戦争の真ただ中。時間に間に合わせるよう毎日みんなで頑張っています。でも、しばしば遅れることもあります。そんなときに限って園生達は早く来て食事の音楽がなるのを、いまかいまかと待ちうけています。はたして、残飯用のバケツ等も置いてくれたりしてくれそうです。中にはおぼんの前に並んで1番乗りをしようとする園生もいます。また、時間どおりに食事が出来上がり、音楽も鳴っているのに誰も来なかったり(作業が終わっていないため)色々あります。無事食事時間も後半になると食器の片付けに入りますが、奇麗に残さず食べてくれているのを見ると、嬉しくて毎回頑張らねばと思うのでした。

金丸



3月の行事予定

1(金)	11(月)	21(木)
2(土) シーツ交換	12(火)	22(金) 3班レク
3(日)	13(水)	23(土)
4(月)	14(木) 1・2班レク	誕生会 24(日)
5(火)	15(金) 防災訓練	25(月)
6(水) 体重測定	16(土) シーツ交換	26(火)
7(木) 愛護体育大会研修	17(日)	27(水) 大掃除
8(金)	18(月)	28(木) 4・5班レク
9(土) 帰宅日 保護者会	19(火)	29(金) 帰宅日
10(日)	20(水)	30(土) 園内職員研修 31(日)

※7(木)愛護体育大会研修(於:熊本市総合体育館) ※2・16日療育相談日

後援協会だより

ご寄付ありがとうございます。

白浜米穀店 山室ミル

山室篤信 荒牧俊雄

島貫八重子 宮崎恭一

竹中広敏 吉永二子

牛島正章 第二ぎんなん作業所

※敬称略

二月二十二日付け

平成三年度後援協会に継続
新規入会して下さるようお願いを
申し上げます。

現在会員の皆様には、振込用紙
を送りますので、平成三年度会費
(年会費三千元以上)をご送金下
さい。新規の方は、お電話下さい。

☎ 096・293・8100

☑ 三気の里 後援会事務局



やろう会三月の日程

7(木) 渡辺こ・金森・国本

9(土) 内山・富田・宇都宮・那須
牛島

14(木) 魚谷・上田・上野

21(木) 井手上・桜木・元田

28(木) 光山・橋村・田中・清田

いつも、お手伝い御苦労様です。

編集後記



この度、菊陽町の小川農園様よ
り「つつじ」をご寄付戴きました。
又、竜北町の古閑義一様より「ユ
ンボ」をお借りしております。紙
面を借りましてお礼申し上げます。
ありがとうございます。

思い出したような寒波、「この
寒さに負けないように」《つつじ》
が根づきます様に……。春には
たくさんのお作物の種植えが出来ま
すように……。と、「ユンボ」を
動かす、寒さに震えながら働く昨
今です。

春スプリング カム スーン 浮